



# 国際子ども図書館 学校図書館セット貸出し 世界を知るセット 小学校高学年向 内容紹介

このセットに含まれる本の内容紹介です。

学校での本の紹介や展示、学校図書館での選書などにご利用下さい。

※外国語の本にある日本語タイトルは参考訳です。

## 1. せかいのひとびと

ピーター・スピアー えとぶん, 松川真弓 やく

評論社 1982 年

大型絵本の見開きいっぱいに、地球上の様々な場所で暮らす人々を紹介する。肌、目の色、服装、宗教や文字など、その多様性を等しく描き、地球上でともに生きていることを知ることができる。

## 2. まるいちきゅうのまるいちにち

エリック・カール ほか作, 安野光雅 編

童話屋 1986 年

世界 8 カ国の絵本作家たちが、グリニッジ標準時 1 月 1 日午前 0 時から丸一日間の、8 カ国の子どもたちそれぞれの様子を描いた絵本。見開き 2 ページが 8 つの枠に区切られており、同時刻の子どもたちの様子を一度に見比べてみることができる。

## 3. はがぬけたらどうするの？：せかいのこどもたちのはなし

セルビー・ビーラー 文, ブライアン・カラス 絵, こだまともこ 訳, 石川烈 監修

フレーベル館 1999 年

乳歯が抜けた時、抜けた歯をどうするか。世界中から集めた、66 の言い伝えや風習を紹介する。歯が生え変わる時期の子どもたちが異文化に触れるきっかけとなる絵本。巻末には歯のことが分かる知識のページがある。

## 4. みんなたいせつ：世界人権宣言の絵本

東菜奈 構成・訳, 渋谷敦志 写真

岩崎書店 2018 年

世界人権宣言を子どもにも分かりやすく意訳した文章と、世界の人々の暮らしぶりを写した写真で構成された絵本。世界人権宣言を取りまとめたエレノア・ルーズベルトや、日本における差別や人権についてなど、関連するコラムも掲載されている。

## 5. 世界がわかる国旗じてん

成美堂出版編集部 編

成美堂出版 2022 年

2020 年から 2022 年の情報をもとに、五十音順に 197 カ国の国旗を紹介した本。イラストや地図も豊富で、首都・面積・人口など国の様子を知ることができる。巻頭に、地図でひく国旗索引、巻末に、国の略号、地域別国名の索引を収録。

## 6. 世界すご！ペディア：197の国+46の地域を楽しく知る事典

「世界すご！ペディア」編集委員会 編  
山川出版社 2020年

243の国と地域について、その国・地域ならではの「すごい話」を、写真やイラストなどとともに紹介する本。国・地域ごとに一記事となっており、首都、面積、人口などの基本データや、国や地域の旗、自然、歴史についての解説も掲載されている。巻末に国・地域名の索引あり。

## 7. 世界あちこちゅかいな家めぐり（たくさんのがしが傑作集）

小松義夫 文・写真、西山晶 絵  
福音館書店 2004年

著者が訪ねた世界中のおもしろい形の家とその家で暮らす人々の様子が紹介されている。モンゴルのゲル、中国の土楼など10の地域の家が取り上げられ、家の外観写真と内部のイラストが対になっている。内装、間取り、生活習慣などが分かる。

## 8. すごいね！みんなの通学路（世界に生きる子どもたち）

ローズマリー・マカーニー 文、西田佳子 訳  
西村書店東京出版編集部 2017年

世界の様々な地域に住む子どもたちの通学の様子を紹介した写真絵本。高い崖を越えたり、橋のない川を渡ったりと、それぞれの環境でときに苦労しながらも懸命に学校に通う子どもたちの様子が分かる。

## 9. 絵で旅する国境

クドル 文、ヘラン 絵、なかやまよしゆき 訳  
文研出版 2022年

地図上では一本の線で表されることが多い国境。国境は、山や川など自然によって区切られた場所の場合もあれば、民族や宗教などの対立によって壁が立ちはだかる場所の場合もある。世界の様々な国境の様子を繊細なイラストで紹介するとともに、国境を越えた出会いについても考えを深めることができる1冊。

## 10. 世界の「こんにちは」

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 監修  
日経ナショナルジオグラフィック社 2021年

「こんにちは」を世界のことばでどう言うか？この本では、約200の国や地域で使われている115の言語で「こんにちは」が書かれており、各言語での読み方、文字、その言葉を話している国と地域を紹介している。世界には様々な言語があることを知るきっかけとしても楽しめる。巻末に国名・地域名索引あり。

## 11. 世界のあいさつ（みるずかん・かんじるずかんく銀の本）

長新太 さく  
福音館書店 1989年

おじさんとねこが挨拶を調べて世界を旅するという、漫画風の絵でさまざまな国の挨拶の仕方を紹介した楽しい本。言葉よりも、しぐさや行動に注目している。抱き合って相手のにおいをかいだり、舌を出したり、相手の手首を握ったり、など他の国の珍しい挨拶の仕方を知ることができる。

## 12. 世界の外あそび学じてん

こどもくらぶ 編さん

今人舎 2019年

「おにごっこ」「ボールゲーム」などのテーマごとに世界の外あそびを紹介する。世界各国でよく似た外あそびが見られる一方、地域によって様々なバリエーションも存在する。実際の遊び方、ルールを絵入りで説明し、その国の情報も記載している。同じ「おにごっこ」であっても、まだやったことのない「おにごっこ」を実際に体験して、同じところと違うところを考えてみるのも楽しいかもしれない。

## 13. 世界の名画物語：子どもたちとたどる絵画の歴史

ミック・マニング、ブリタ・グランストローム 著, Babel Corporation, 大森充香 日本語版訳出

六耀社 2017年

子どもたちのための絵画史の入門書。石器時代の壁画からストリートアートまで、世界の絵画を収録。各時代の巨匠 38 名の作品を取り上げ、それぞれの作品にまつわるエピソードについてイラストレーションを交えて紹介している。巻末に絵画に関する用語集と索引あり。

## 14. 世界の市場：おいしい！たのしい！24のまちでお買いもの

マリヤ・バーハレワ 文, アンナ・デスニツカヤ 絵, 岡根谷実里 訳

河出書房新社 2022年

世界 12か国、24 の市場が月ごとにチョイスされて描かれている。市場の歴史や見どころ、特色ある商品、その国一番小さな金額の紙幣で買えるものなどがイラストで表現されている。市場を通して、世界の人々の暮らしや、それぞれの国の文化を知ることができる。

## 15. 世界がわかる図鑑：旅するように世界がわかる 2（世界の料理図鑑）

地球の歩き方編集室 監修

Gakken 2023年

旅行ガイドブックの『地球の歩き方』監修で刊行された、子ども向けの料理図鑑。世界を 5つのエリアに分けて、それぞれの国や地域の料理や食材を写真つきで紹介している。各国・地域の歴史・地理・気候と食文化との関係や、グルメトピックスとして朝食やおやつ、スペイスなどの紹介もある。巻頭に国・地域名の索引あり。

## 16. 手で食べる？

森枝卓士 文・写真

福音館書店 2005年

世界にはいろいろな食べ方があり、手で食べたり、箸やナイフ、フォーク、スプーンを使ったりと、道具もさまざまである。なぜ、こんな食べ方をするのだろうか。子どもたちが実際にそれぞれの食べ方を体験しながら、食文化を検証していく。単に食事風景の紹介にとどまらず、歴史にも触れられている。

## 17. ずかん世界のくつ・はきもの：見ながら学習調べてなっとく

鈴木絵美留 監修

技術評論社 2021年

世界各国の靴と履物を写真と簡単な解説で紹介した図鑑。めずらしい靴や履物を、それが使われている国の場合が分かる地図と一緒に掲載している。わらじなどの履物の作り方や履物にまつわるちょっとした知識も載っている。

国名で調べられる目次及び巻末に索引あり。

## **18. いっぽんの鉛筆のむこうに**

谷川俊太郎 文, 坂井信彦 ほか写真, 堀内誠一 絵  
福音館書店 1989年

私たちの身近にある鉛筆。鉛筆ができるまでを取り上げ、その過程をになうスリランカ、アメリカ、メキシコ、日本の人々の仕事、家族、生活を写真とイラストをまじえて紹介している。たくさん的人が関わってはじめて一本の鉛筆ができるることを実感できる。鉛筆から日本と世界のつながりが見えてくる。

## **19. こども世界の民話 上**

## **20. こども世界の民話 下**

内田莉莎子 ほか著  
実業之日本社 1995年

本書は語りのテキストとしてよく使われている『子どもに聞かせる世界の民話』全81話の中から、約半数の42話を選りすぐり、子どもたちが自分で読みやすいように文章を練り直したもの。世界各地の昔話を優れた翻訳で楽しむことができる。活字が大きく、ルビが丁寧にふられているので、本が苦手な子どもにも読みやすい。

## **21. くじらの子**

石川梵 写真と文ほか  
少年写真新聞社 2021年

インドネシアのバリ島から約1500キロメートル東にあるレンバタ島。島の南端のラマレラ村では、400年もの間、くじらに飛びかかり、モリを打ち込む伝統的な捕鯨が行われている。本書は、くじら漁の様子や、くじらをとることで成り立つ村の生活を、10歳のエーメン少年の視点から紹介する写真絵本である。

## **22. なぞなぞ 100 このほん**

M.プラートフ 採集, 松谷さやか 編・訳, M.ミトゥーリチ 絵  
福音館書店 1994年

「うまれたときからひげがはえているのはだれ?」、答えは「ねこ」。旧ソ連の昔話研究者が編んだ本より、100個のなぞなぞを選び、ロシアの代表的な画家であるミトゥーリチがイラストを描いた絵本。少し難しいなぞなぞもあるが、イラストが大きなヒントとなっている。答えはページの端に逆さまに記されている。巻末にはどの民族のなぞなぞかを示した一覧がある。

## **23. オーラのたび**

ドーレア夫妻 作 吉田新一 訳  
福音館書店 1983年

ノルウェーに住む男の子のオーラが国を旅して得たさまざまな経験を描いた絵本。オーロラや雪景色が美しく描かれ、モノクロとカラーの絵のページが効果的に配されている。北欧のなかでも特に寒さの厳しいノルウェーの自然やそこで暮らす人々の様子が分かる。

## **24. ヨーロッパの古城 (輪切り図鑑クロスセクション)**

リチャード・プラット 文, スティーブン・ビースティー 画, 赤尾秀子 訳  
あすなろ書房 2020年

中世ヨーロッパの城を輪切りにし、城の内部を図解した本。築城方法や城攻め、当時の王侯貴族や騎士、職人や農民などの生活の様子が、精緻なイラストを使って詳しく紹介されている。スパイがどこにいるか探してみるのも面白い。

## **25. ワンガリの平和の木：アフリカでほんとうにあったおはなし**

ジャネット・ウィンター 作 福本友美子 訳

BL出版 2010年

2004年にノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイの伝記絵本。荒れ果てたふるさとの村に緑を取り戻すため、家の裏に9本の苗木を植えることからはじめたグリーンベルト運動はやがてアフリカ30か国以上に広まった。

この本は、SDGsの目標15である「陸の豊かさも守ろう」のテーマをわかりやすく伝えていることから、国際連合“SDG Book Club”的ブックリストに取り上げられている。

## **26. アラスカたんけん記（たくさんふしき傑作集）**

星野道夫 文・写真

福音館書店 1990年

アラスカに憧れた著者が、度々アラスカを訪れて記した探検記。人々の暮らしや自然、動物たちのようすなど、著者が体験したできごとや風景を、豊富な写真と語りかけるような文章で伝えている。1日中日が沈まない白夜の夏と、ほとんど太陽を見ることのない極寒の冬、その暗い空を彩るオーロラの光。厳しい自然と人をひきつけるアラスカの魅力に触れることができる1冊。

## **27. かいじゅうたちのいるところ**

モーリス・センダック さく、じんぐうてるお やく

富山房 1975年

## **28. Where the wild things are（英語）**

Maurice Sendak

HarperCollins 1991年

マックスは、家の中で大暴れをして、寝室に放り込まれる。やがて、寝室に森が現れ、大海原が出現し、マックスは船に乗り「かいじゅうたちのいるところ」へ向かう…かいじゅうたちの王様になって大いばりで暴れるマックスと、寂しくなるマックスの対比、そして家に帰り着いた時に温かい夕食が置かれている場面が見どころ。表紙は人間の足をしたかいじゅうたちである。

## **29. 世界のともだち 06（アメリカ：西海岸の太陽とコリン）**

鈴木智子 写真・文

偕成社 2014年

## **30. 世界のともだち 03（ブラジル：陽気なカリオカ ミゲル）**

永武ひかる 写真・文

偕成社 2013年

世界の子どもたちの生活を紹介する写真絵本シリーズ。1冊ごとに1人の子どもに密着し、家庭、学校、地域などさまざまな側面からその国や都市での暮らしを伝える。巻末に地理・歴史のデータを掲載。

第3巻ではリオデジャネイロに住む11歳のミゲルくんに密着し、真夏のクリスマス、有名なカーニバル、都会から近いビーチなどリオデジャネイロの風景と合わせて子どもの生活を紹介する。

第6巻ではカリフォルニア州に住む12歳のコリンくんの生活を紹介する。学校生活の描写が詳しく、教室内の見取り図や、多様なルーツを持つクラスメートのお弁当、小学校卒業直前の過ごし方などが紹介されている。

### **31. アマゾン川：熱帯雨林・生命の源**

サングマ・フランシス 文, ロモロ・ディポリト 絵, ゆらじょうこ 訳  
徳間書店 2022年

世界最大の流域面積を誇るアマゾン川。この本では南アメリカ大陸の7か国を流れる川の流域に住む多種多様な生き物や、アマゾン川の歴史、文化、人々の暮らしなどを鮮やかなイラストとともに紹介している。巻末に用語集と解説あり。

### **32. ミラクルバナナ**

ジョルジュ・キャストラ, ロドニイ・サン・エロワ 作, ルイジアーヌ・サン・フルラン 絵, 加古里子文

学習研究社 2001年

「バナナの紙」でできた絵本。バナナは、東南アジアや南米など、暑い地域で育つ多年生草本、つまり「草」である。茎の丈は高いもので10mに達するが、収穫後は切り倒され、捨てられる運命にある。そんなバナナの茎を原料に、南米のハイチと日本の共同プロジェクトにより、古代和紙の製法を用いてこの本のバナナ紙は作られた。紙の感触も楽しむことができる。

### **33. 言葉図鑑：にほんご・えいご・ポルトガルご・スペインご 1 (なまえのことばとくらしことば)**

五味太郎 作, 田所清克, ペドロ・アイレス ポルトガル語訳, 恩智敏子 スペイン語訳  
偕成社 2013年

日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語の4か国語で、基本的なものの名前や、感情を表現する言葉、簡単な文が紹介されている。それぞれがユニークなイラストで表現されており、見るだけでも面白い。外国語に興味を持つ日本の子どものほか、日本語を母語としない子どもも楽しむことができる。巻末に語彙索引あり。

### **34. Ellsworth's extraordinary electric ears and other amazing alphabet anecdotes (英語)**

びっくりアルファベット小話集

Valorie Fisher

Atheneum Books for Young Readers 2003年

アメリカのアルファベット絵本。タイトルや本文は単語の頭文字を揃えた言葉遊びになっている。人形やジオラマを使ってアルファベットで始まるものをビジュアル化し、ナンセンスな言葉遊びの世界を表現した写真絵本。ユーモラスな写真を眺めるだけでも楽しめる。

### **35. أب ت من الإمارات (アラビア語) 首長国から ABC**

صور عمر النقبي  
كلمات 2010年

アラブ首長国連邦(UAE)で出版されたアラビア語アルファベット(アリフ・バー)の絵本。最初の文字「ا」(アリフ)で始まる単語は「首長国」、2番目の文字「ب」(バー)で始まる単語は「ブルカ」(女性の黒い衣装)、その次は「なつめやし」といった具合に、中東アラブ地域の文化や習俗にちなんだ単語を用いている。文字と写真を眺めるだけでも興味深い。

### **36. سلام (ペルシャ語) サラーム**

طرح از مهدی معینی؛ نقاشی از ک. طالقانی  
انتشارات ساز و کار 1998年

イランの絵本。タイトルの「サラーム」は、もともとは「平安」という意味だが、中東では挨拶言葉として広く使われている。男の子が朝目覚めてから小学校に行くまで、家族や商店の人たちに「サラーム」と挨拶をする。人々は笑顔で男の子を振り返る。ほとんどがイラストの絵本で、日常のひとこまが描かれているため、とても親しみやすい。

### 37. I numeri (イタリア語) (英語) すうじ

Luigi Veronesi

Corraini editore 1997年

イタリアのグラフィックデザイナーによる数字を知るための絵本。イタリア語と英語でテキストが書かれている。指と色、さまざまな形を用いて0から10までの数字を表している。白地に指の写真、黒字に鮮やかな色彩の図形がある。

国立国会図書館 国際子ども図書館  
児童サービス課 児童サービス企画係  
URL : <https://www.kodomo.go.jp/>